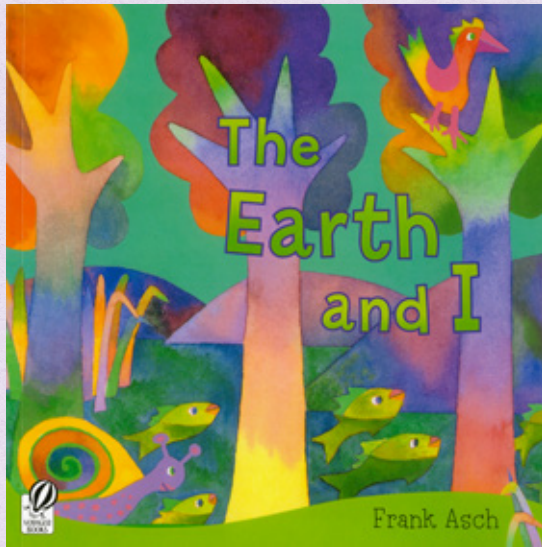


子どものための B O O K G U I D E
— 12 —



The Earth and I

著者: Frank Asch
出版社: Voyager Books

カ

ラフルな絵とシンプルな文でできた絵本です。長い文でもせいぜい8 words。英語を習い始めの子どもにぴったりです。最初のページは男の子(もしかしたら女の子?)が家の窓から、実をつけたリングカナシの木を眺めている絵があって、その下に The Earth and I are friends.

この後、男の子が the Earth と話をしたり、遊んだり、踊ったりして、いっしょに悲しんで、最後は、When she's happy, I'm happy. となって、再び The Earth and I are friends. で結ばれます。文章に関していえば、単語的にも文法的にも(what's on my mind とかの例外はあるものの)、ほぼ初心者向けなので、子どもといっしょに読むには最適です。

ところが、なかなか手ごわい問題が潜んでいます。それは日本語と英語の違いです。例えば、最初の一文。The Earth and I are friends. 日本語だと、「僕と純ちゃん(地球)は友達なんだ」というふうに、「僕」が先にきますが、英語では相手が先にきます。

それから、もう一つ、最後の When she's happy, I'm happy. という文の she は the Earth なのです。この発想は日本人にはありません。しかし「母なる大地」という言葉でもわかるように、欧米で the earth は女性なのです。そもそもギリシア神話でも、ガイア(大地)が女で、ウラヌス(天)が男。英語では、その他、国、都市、船なども she で受けます。

そして何より、the Earth の意味の広さ。男の子が庭を耕している絵の下には、I help her to grow. とあって、男の子が野菜を食べている絵の下には、She helps me to grow. また、Sometimes we go for long walks together. という文の上には、男の子が歩いている絵があって、空には太陽が、遠くには山が、近くには川があって、川では魚が泳いでいて、まわりには草が生え、花が咲いています。

この the Earth、どう訳しますか。大地、自然……もしかしたら地球? そう、これは the Earth という意味の広さと大きさを教えてくれる絵本でもあるのです。

金原瑞人
かねはら みずひと

岡山県生まれ。翻訳家、法政大学社会学部教授。法政大学文学部英文学科卒業後、同大学院修了。訳書は児童書、一般書、ノンフィクションなど600点以上。日本にヤングアダルト(YA)というジャンルを紹介。中学校英語教科書『Here We Go!』(光村図書)の編集委員を務める。